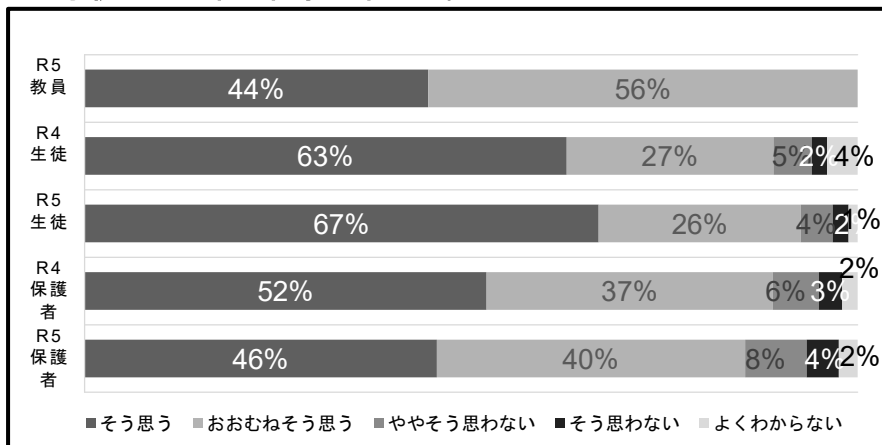


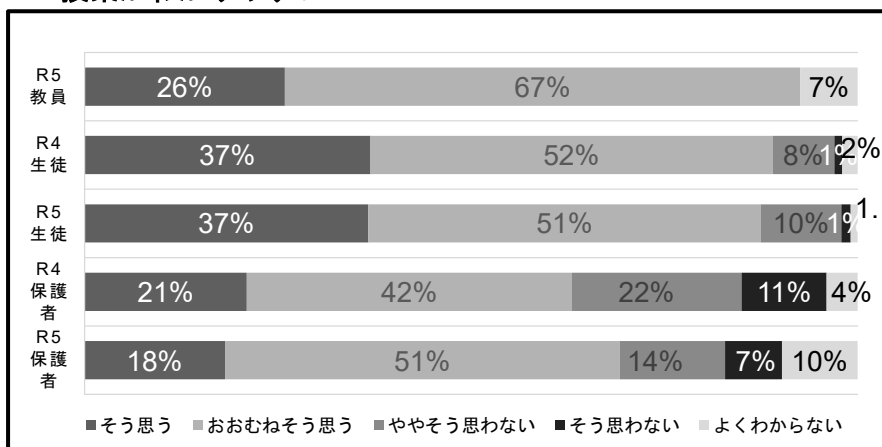
令和5年度 中村中学校学校教育活動に関するアンケート結果

1. 学校での生活や行事が楽しい。



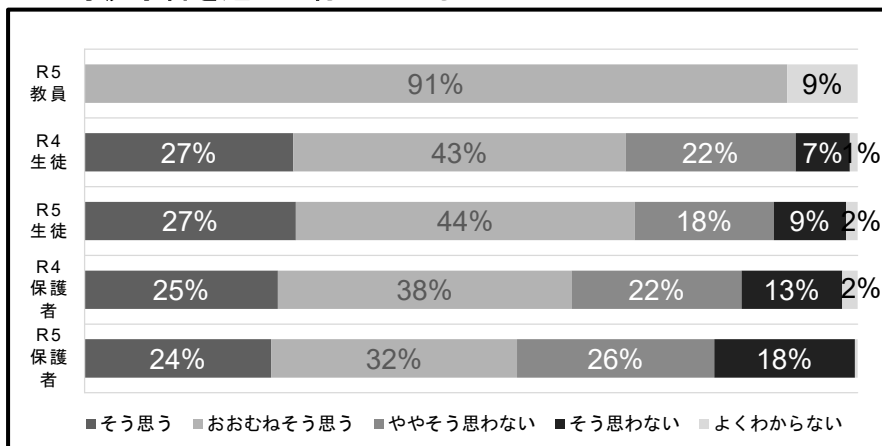
生徒の「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が昨年度より3%向上しており、全体の9割を超えている。これは、各種行事の実施方法や、9月1日に「父親の会」でかき氷を生徒にごちそうしたことなど、生徒が楽しい学校生活を過ごせるように随所に工夫して取り組んだ成果が表れたものである。今後も、どの生徒も楽しいと思えるよう、職員が一丸となって学校運営に取り組んで行く。

2. 授業がわかりやすい



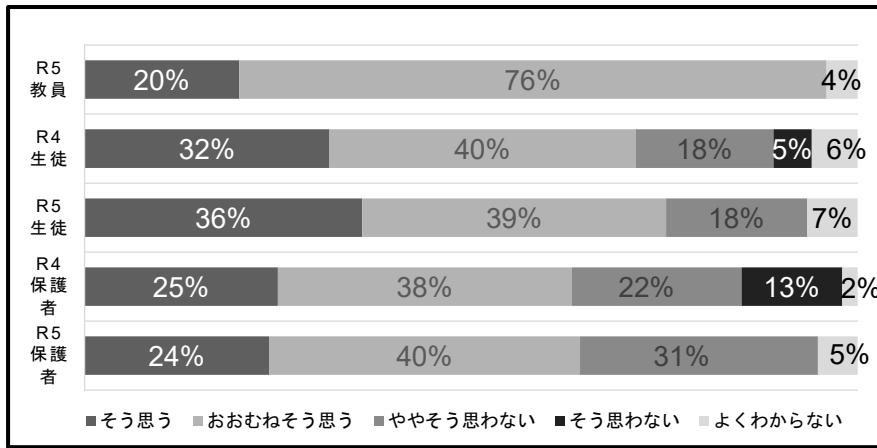
「授業がわかりやすい」と感じている生徒は、昨年度とほぼ同じで全体の9割弱となった。今年度から2年間、真岡市教育委員会から指定研究推進校の指定を受けており、授業改革を進めている途中である。また、「授業がわかりにくい」と感じている生徒も1割いるため、個別最適化された授業を推進していくとともに、授業の様子などをフリー受業参観やHPなどで保護者の皆さんと共有していく。

3. 家庭学習を進んで行っている



生徒の「家庭学習を進んで行っている」割合は7割程度であり、昨年度とほぼ同じ割合である。生徒が自分から家庭学習を進んで行えるよう、再度、家庭学習の方法を教員と生徒と一緒に確認する。また、表現力育成のために家庭で取り組んでいただきたい内容についても、より積極的に実施していきたい。

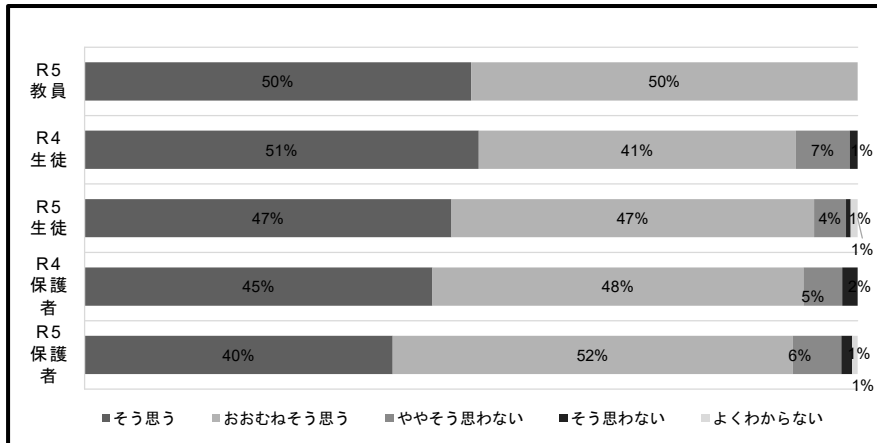
4. 進路や将来の生き方について真剣に考えている



本校では、生徒が社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す取り組みを計画的に行っている。また、生徒の取り組みについて、「キャリアパスポート」にまとめている。

今後も、生徒が進路や将来の生き方について真剣に考えられるよう、計画的なキャリア教育を推進できるようにしていく。

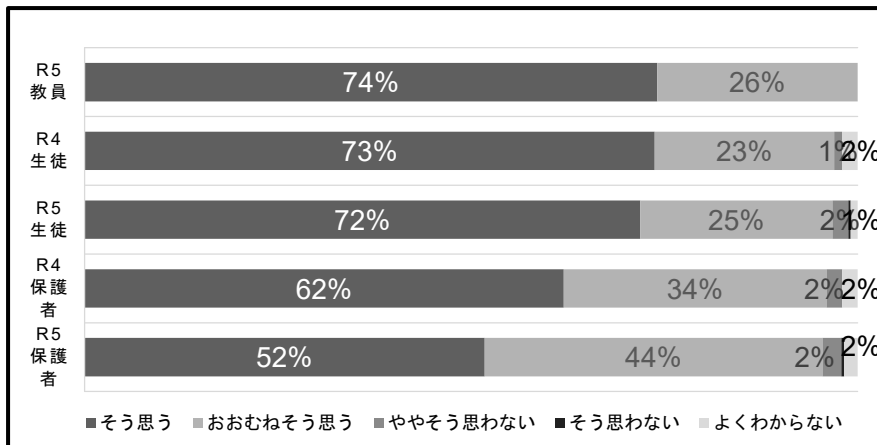
5. ルールやマナーを守るなど、基本的な生活習慣が身に付いている



9割を超える生徒が「ルールとマナーを守り、基本的な生活習慣が身に付いている」と回答しており、落ち着いて学校生活を送ることができている。

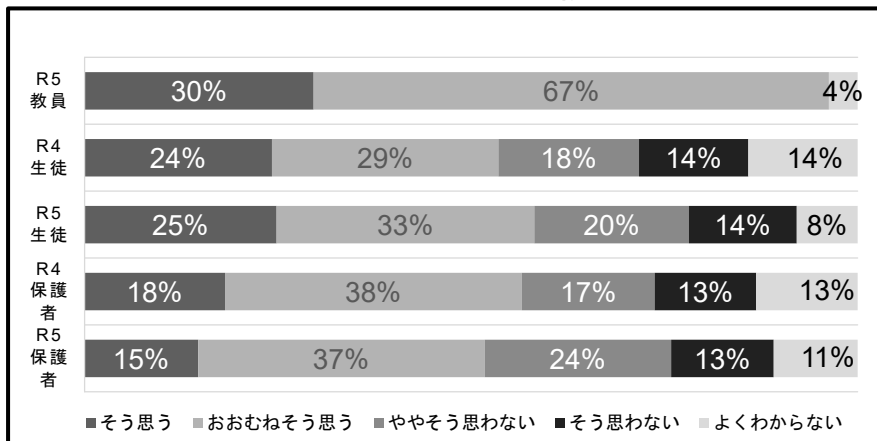
「ルールとマナー」(校則)については、生徒会を中心に見直しを図っており、今年度中には改定された校則を実施する予定である。

6. 思いやりの心やいじめ・差別を許さないという気持ちをもっている



ほとんどの生徒が「思いやりの心やいじめ・差別を許さないという気持ち」と回答している。現状では、いじめの事例が数件発生している。いじめを根絶するために、学校はいじめの早期発見及び、生徒が安心できる居場所づくりに努めるとともに、各家庭でもいじめを絶対にしないことをご確認いただきたい。

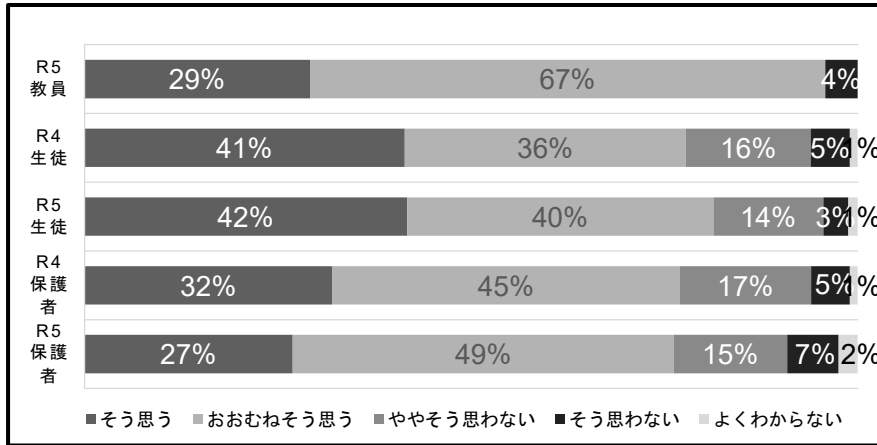
7. 先生に悩みや困っていることなどを相談している



教員と生徒・保護者との意識の差が大きい。教師は生徒と良好な人間関係の構築に努め、教師の言動や態度、姿勢、対応などから、生徒が相談しても安心・安全であることや信頼を感じられるよう、今後も努めていく。

さらには、SC や SSW と連携した取組も進めていく。

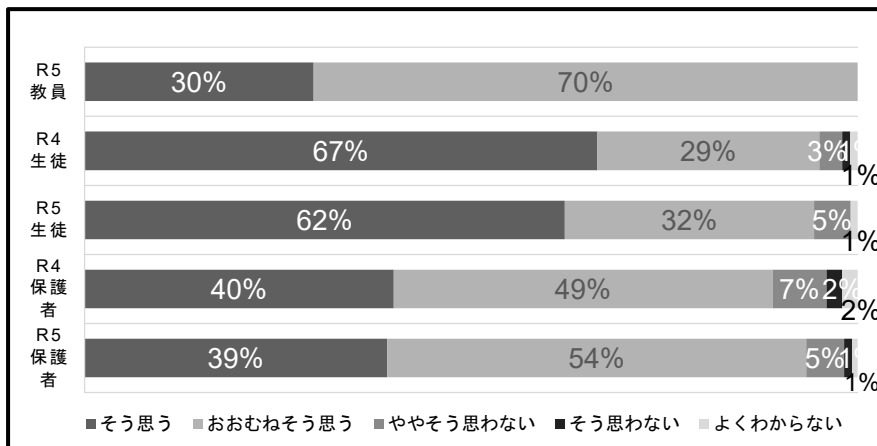
8. 健康管理や体力向上を意識して生活している



体力向上については、今年度、全生徒が部活動の垣根を越え、何らかの運動ができるよう、スポーツデーを設定し、生徒が運動する楽しさを実感できるようにした。

健康管理については、毎朝の健康観察、保健委員会の活動などを通して、生徒に自分の健康に興味・関心をもたせ、日常的に自身の健康管理の意識を高めるように努めた。

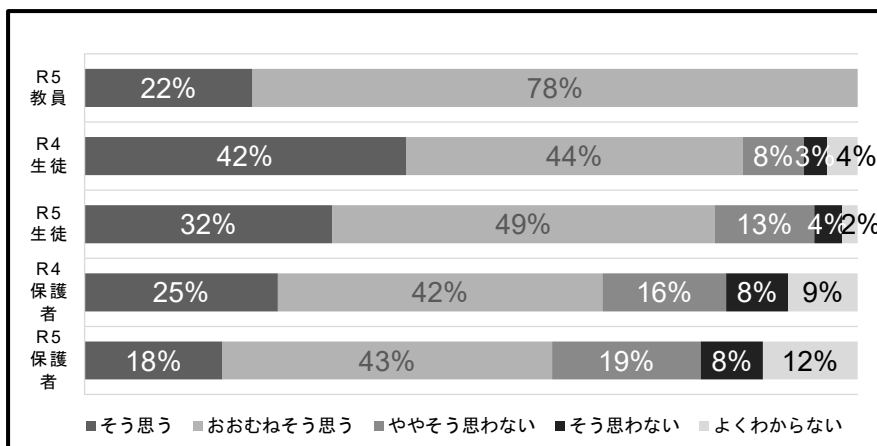
9. 交通ルールを守ったり避難訓練を真剣に行ったりして危険を予測・回避しようとしている



9割以上の生徒、保護者が、交通ルールを守ったり避難訓練を真剣に行ったりして危機管理に関する意識が高いと回答している。

今後も、自分の命を自分で守る「自助」の意識を高められるよう、生徒に継続的な指導を行っていく。

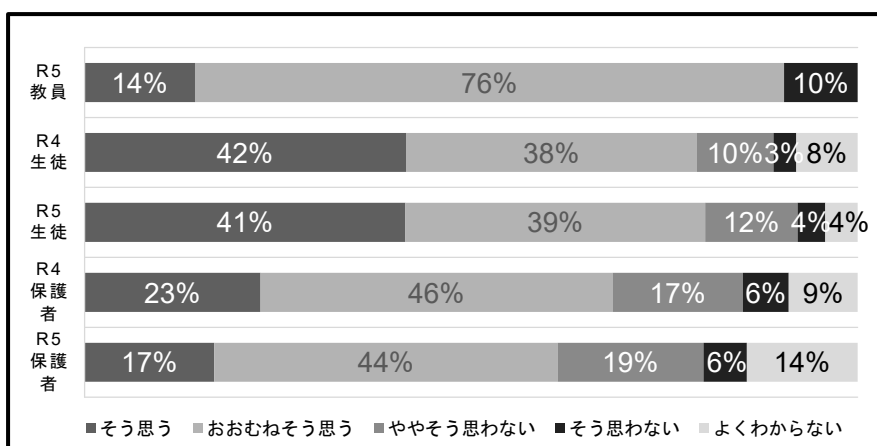
10. 一隅清掃、クリーン活動、アルミ缶回収などの勤労奉仕活動に進んで取り組んでいる



生徒の「そう思う」が昨年度より10%低い回答となった。毎日の一隅清掃を通し、キャリア教育の一環として働くことの大切さと社会に奉仕することにより充実感が味わえるよう、生徒に継続的な指導を行っていく。

また、生徒が勤労奉仕活動において意欲的に取り組んでいる様子を学校だよりや学年だより、ホームページ等で家庭、地域に広く知らせる。

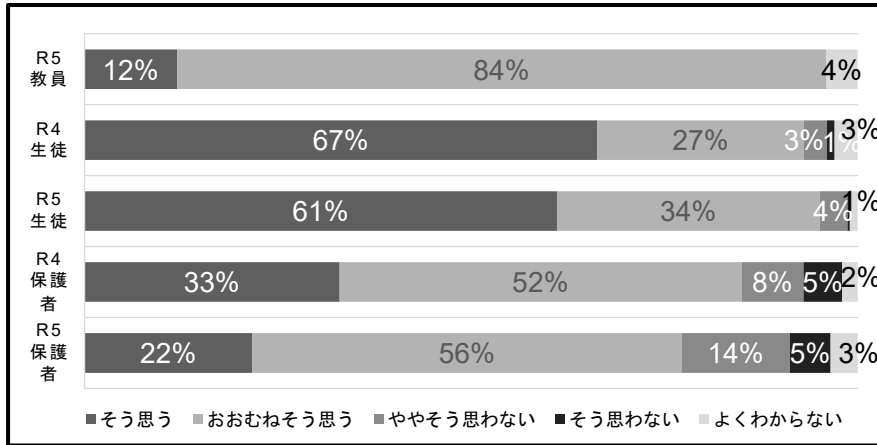
11. 郷土を愛する気持ちを身に付けている



今年度から「中村夏祭り」「真岡夏祭り」での御神輿が復活し、生徒に希望を募ったところ、多くの生徒が自主的に参加を希望した。また、創立記念日には、本校を卒業された方をお呼びし、一隅清掃が始まったころのお話をいただいた。

今後も、地域の祭りや職場体験活動などを通して、地域の多様な方と交流を通じて生徒の郷土を愛する気持ちを育むようにしていく。

12. 学習・生活の様子や学校の情報を伝えてくれる



9割の生徒、8割弱の保護者が「伝えてくれる」と回答している。

今後も、生徒の学習・生活の様子や学校の情報を、学校だよりや学年だより、ホームページで保護者・地域に知らせていく。